

平成29年度第10回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日時：平成29年12月11日（月）11時00分～11時40分

場所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	半藤 英明
副学長	津曲 隆
事務局長	田中 純二
文学部長	砂野 幸稔
環境共生学部長	松添 直隆
総合管理学部長	黄 在南
地域連携・研究推進センター長	堤 裕昭
学術情報メディアセンター長	村尾 治彦
アドミニストレーション研究科長	宮園 博光
TKUみんなのニュース解説委員	平野 有益
崇城大学教授・九州大学名誉教授	山田 耕路
熊本県公立高等学校長会長	和久田 恭生

事務局：本田事務局次長、多田隈教務入試課長、坂本学生支援課長、花村企画調整室長、前田総務課長、脇上地域連携・研究推進センター事務長、安達学術情報メディアセンター事務長、教務入試課築地班長、同課平山班長

1 開会（進行：本田次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：半藤学長）

（1）審議事項

① 平成30年度特別選抜における合格者決定について

事務局教務入試課から、資料1-1に基づき、「特別選抜として推薦入試、社会人入試を実施し、各学部の教授会で可否の判定を行ったので、審議をお願いする。試験は12月3日に実施した。推薦入試は73名の募集に対して159名の志願者があり74名を合格としている。農業・林業・水産科推薦入試は若干名の募集に対して5名の志願者があり1名を合格としている。“くまもと夢実現”推薦入試は2名以内の募集に対して1名の志願者を合格としている。社会人入試は各学科若干名の募集に対して3名の志願者があり1名を合格としている。全体では168名の志願者に対して77名を合格としている。審議内容の詳細については、資料1-2に基づき、各学部長、副学長から説明していただく。」との説明があった。

1) 推薦入試

文学部長から、「日本語日本文学科は、募集人員5名に対し、受験者16名。小論文と面接を実施。上位5名までを合格としたい。英語英米文学科は、募集人員7名に対し、受験者15名。小論文と面接を実施。上位7名までを合格としたい。」との説明があった。

環境共生学部長から、「環境資源学科は、募集人員3名に対し、受験者4名。小論文と面接を実施。上位3名を合格としたい。居住環境学科は、募集人員4名に対し、受験者9名。小論文と面接を実施。上位4名までを合格としたい。食健康科学科は、募集人員4名に対し、受験者18名。小論文と面接を実施。上位4番目が同点で2名いるため、上位5名までを合格としたい。」との説明があった。

総合管理学部長から、「総合管理学科は、募集人員50名に対し、受験者97名。総合問題と面接を実施。上位50名までを合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

2) 農業・林業・水産科推薦入試

環境共生学部長から、「若干名の募集に対し、受験者5名。小論文と面接を実施。合格基準に達している上位1名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

3) “くまもと夢実現” 推薦入試

副学長から「募集人員2名以内に対し、1名が受験。総合問題と面接を実施。合格基準に達しており合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

4) 社会人入試

環境共生学部長から、「居住環境学科について、若干名の募集に対し、受験者1名。小論文とプレゼンテーションを実施。合格基準に達しており合格としたい。食健康科学科について、英語、化学・生物、小論文、面接を実施。合格基準に達しておらず不合格としたい。」との説明があった。

総合管理学部長から、「総合管理学科について、若干名の募集に対し、出願者1名であったが、英語、小論文、面接の全科目とも欠席したため失格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 副学長の選考について

半藤学長から、資料2に基づき、「現、津曲副学長の任期満了に伴う次期副学長について、熊本県立大学副学長選考規程に基づき選考したので、審議をお願いしたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

4 その他

次回日程 平成29年度第11回12月18日(月)午後1時～本部棟2階大会議室

5 閉会